

# 復帰50年市民公開講座 「住まいの貧困を考える」

2022年11月27日 13:30~16:30

**居住支援の現場から**

**NPO法人ファミリーサポート愛さん会**  
**代表理事 平良博子**

## 居住支援のきっかけ…

2011年11月、宅老の受け入れ先として事務所と併設した場所に宅老所（通称：わった一家）を開所



宅老所としての需要が少ない事もあり、住まいを喪失した方々の一時的な居住支援の形態に変化した

**居住支援のスタート**

## 居住支援スタート

- ◎ **那覇市より緊急一時宿泊事業を受託**
- ◎ **2013年、5月 沖縄県より「絆」事業を受託**
- ◎ **2014年、4月 わった一家を女性専用  
那覇市松川に男性専用  
(ふぁみりーハウス)として  
居住支援を展開**

## 一時生活支援の場所

※ 2015年（平成27）4月1日

「生活困窮者自立支援制度法」施行



生活困窮者自立支援事業の中の  
「一時生活支援事業」



沖縄県・那覇市

「公益財団法人：沖縄県労働者福祉基金協会  
（以下、沖縄県労福協）が受託



「一時生活支援事業」を「愛さん会」へ  
再委託

## 一時生活支援の場所

2021年4月～2022年3月利用者

### ○ 沖縄県常設宿

- ABA北谷 女性、家族専用 定員3名 (5名)
- ABA県P (那覇市上間) 男性、女性 定員4名 (22名)
- ABA三教 (南風原在) 男性、女性定員2名 (8名)

### ○ 那覇市常設宿

- ABAなほP (那覇市上間在) 男性専用 定員4名 (16名)
- ふぁみりーハウス (那覇市松川在) : 男性専用 平屋一軒家 定員5名 (17名)
- ABA松川 (那覇市松川在) : 女性専用 平屋一軒家 定員3名 (13名)

### ○ 非常設宿 (愛さん会、自主運営)

- わった一家 (那覇市上間在) 状況次第 4名定員 (15名)
- ハウス258 (那覇市寄宮在) 家族専用 2022年、9月より開設

2021年度利用者数合計 : 96名

## 一時生活支援事業の目的

- ▶ 住居のない生活困窮者が対象
- ▶ 入居期間：原則3カ月
- ▶ 本事業を利用中にできるだけ一般就労に結びつくよう自立支援事業所と連携
- ▶ 地域社会から孤立し路上を行き来する不安定な居住状態にある方に対し必要な情報の提供や助言を行い、日常生活を営むにおいて必要な支援を実施

## 現状・課題（1）

- ▶ ○ 相談者の媒体としては単身相談者が主
- ▶ ・ここ2～3年は複数人世帯（家族）での相談が増加傾向にある。
- ▶ ・コロナ関係の給付支援策が行き渡ってきたにも関わらず、  
困窮状態から脱することのできない人もいる。
- ▶ ・今後は出口支援として就業や住まい探しを含めた長いスパンの支援が求められる。
- ▶ ・一時生活支援事業の重要性は、一層高まると考えられる。

## 現状・課題 (2)

- 一時生活支援事業の役割は大きい

一時生活支援を終了後 → 生活保護受給につなげる

### 課題

次の居所としてのアパート等へ

アパート賃貸契約のための連帯保証人や緊急連絡先となれる人がいない等、親族に限らず、頼れる人、身寄りのない“孤立”した相談者もいる。

- 一時生活の場に滞留している現状

・ 沖縄県の現状・・・アパートを借りる際の二重の保証

① 保証会社への保証料金の支払い

② 保証人（県内在住の身内）を立てる

※身寄りのない相談者の自立への道がどんどん遠のく現状

## 今後の取組み（出口支援をめざして・・・）

☆「空き家活用型の支援付サブリース住宅拡充と事業継続性を確保する事業」を本年8月にNPO法人 抱樸より受託

- ①知念住宅（那覇市寄宮在）
- ②ABA浦添（浦添市在）
- ③ABA大原（那覇市寄宮在）

賃貸契約済

総合支援  
入居・生活・就労・家計管理

目的 新型コロナウイルス感染拡大

生活困窮者

- ①長期の困窮と地域からの孤立の防止
- ②長期のひきこもり等社会からの孤立に陥らない

## まとめ

私が出会った人たちは皆、好んで困窮になった方は一人もいません。

ただ、働きたくても働く場所がない、身内からも疎遠になってしまい連絡先さえもわからない、住む家がない、身分証さえもなく、携帯さえもない、そんな理由の方が殆どです。頼れるはずの身内も本人に援助する余裕もないことが負の連鎖を生み出している。

地域とつながること、それはそのまま社会ともつながる。ここでは、「助けて・・・」と求める人の声を拾う人が関心をもち、自分の地域を改めて見つめ直すことが大切だと感じる。

ひとり一人の小さな声が、大きなうねりとなって、住みよい地域になって行くことを願う・・・